

# 小平市文化スポーツ推進計画【概要版】

## 計画策定の趣旨

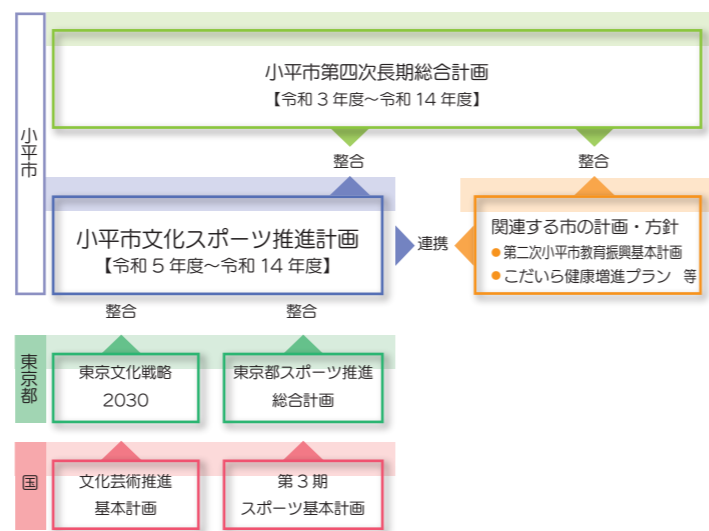
本市では、文化芸術及びスポーツの施策について、「小平市の文化振興の基本方針（改定版）」（平成 28 年度～令和 4 年度）及び「第二次小平市のスポーツ振興の基本方針」（平成 29 年度～令和 4 年度）により、様々な施策を推進してきました。

この度、両方針の対象期間が終了することから、方針の見直しにあたり、本市において、これまでに文化芸術及びスポーツを一元化した管理体制が構築されたことや、まちづくりの最上位かつ総合的な計画である「小平市第四次長期総合計画」（令和 3 年度～令和 14 年度）の中で、ともに「基本目標Ⅰ ひとつづくり」に位置づけられていることを踏まえ、両分野における「ひとつづくり」を一体的・計画的に推進していくことを目指し、2つの方針を統合した「小平市文化スポーツ推進計画」を新たに策定しました。

## 計画の位置づけ

本計画は、文化芸術基本法第7条の2第1項に規定する地方文化芸術推進基本計画及びスポーツ基本法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画を一体として策定しています。

なお、本計画は「小平市第四次長期総合計画」及び「第二次小平市教育振興基本計画」等の他の個別計画等との整合を図っています。



## 計画の期間

本計画の対象期間は、令和5年度～令和14年度までの10年間とします。なお、期間内においても、社会情勢の変化や進捗状況等に応じ、適宜、見直しを図るものとします。

## 小平市の現状と課題

市民アンケートや関係者団体等に対するヒアリング調査、現行方針の振り返り等から次のとおり整理しました。

- |              |   |                                    |
|--------------|---|------------------------------------|
| 文化<br>芸術     | 1 | 文化芸術にふれる機会が減少し、関心や認知度向上が必要とされています。 |
|              | 2 | 文化芸術を支える人材育成の取組と活躍の場の充実が求められています。  |
|              | 3 | 小平市の文化資源の効果的な保全・活用の取組が求められています。    |
|              | 4 | 文化芸術を通じた多様な連携・協働の取組が求められています。      |
| スポ<br>ー<br>ツ | 1 | 気軽にスポーツに親しめる機会の充実が必要とされています。       |
|              | 2 | スポーツを支える人材の育成と環境の充実が求められています。      |
|              | 3 | スポーツを通して地域を活性化する取組が求められています。       |
|              | 4 | スポーツの力を活用した多様な連携・協働の取組が求められています。   |

## 共通理念

### 人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

文化芸術及びスポーツは、どちらも人が生きがいや充実感をもって生活することに寄与するとともに、生涯にわたって、学び、楽しむことができるものです。両分野は、「小平市第四次長期総合計画」の中で、「基本目標Ⅰ ひとつづくり」に位置づけられていることから、そこで掲げられている「人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち」を本計画の共通理念とします。

年齢・性別・国籍の違い、障がいの有無などに関わらず、大人から子どもまで誰もが気軽に文化芸術及びスポーツを楽しむことができ、それらをきっかけとした交流やにぎわいによる新たな価値が創出されることを目指します。

2つの分野による「ひとつづくり」であることから、その対象は広い範囲に及ぶとともに、施策も多岐にわたります。そこで、さまざまな施策を展開するにあたって、共通してもつべき4つの視点を設定し、この視点に基づいて、それぞれの施策に一貫性をもって進めます。

#### 1 きっかけづくり

#### 誰もが親しめるきっかけをつくっていく

誰もが文化芸術やスポーツに気軽に親しめるきっかけや子どものきっかけを積極的に創出します。

#### 2 環境づくり

#### 担い手やそれを支える環境をつくっていく

文化芸術やスポーツの担い手の育成や気軽に親しむことができる環境を整えていきます。

#### 3 魅力づくり

#### まちへの愛着を育み、地域の活性化につなげていく

小平の文化芸術やスポーツに関わる誇るべき魅力を育み、地域の活性化につなげていきます。

#### 4 つながりづくり

#### 多様な担い手とのつながりを発展させていく

これまでに培われた多様な担い手とのつながりやコミュニティをレガシーとして、発展させていきます。

## 共通理念

### 人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

## 計画推進の視点

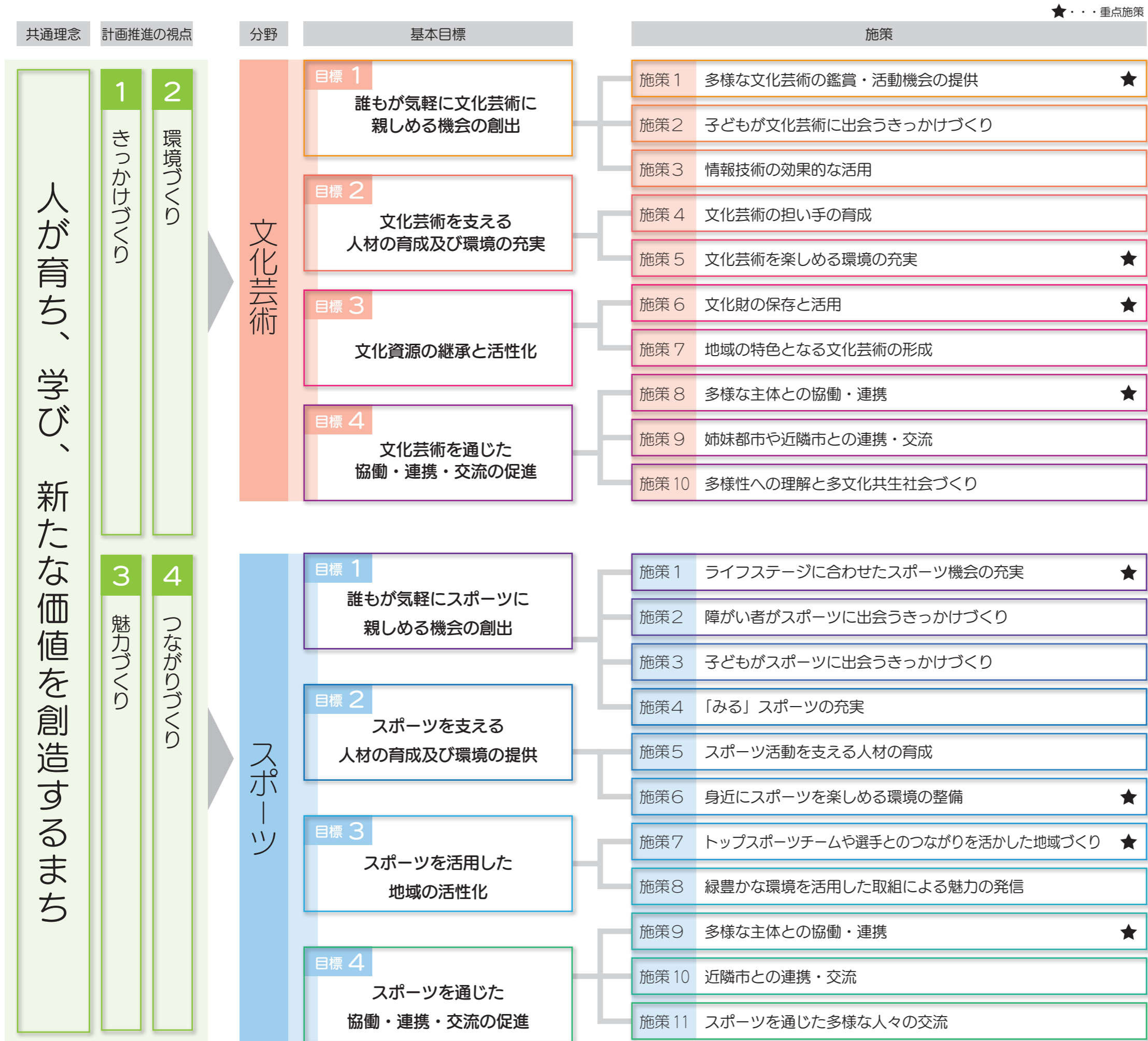
#### 1 きっかけづくり

#### 2 環境づくり

#### 3 魅力づくり

#### 4 つながりづくり

# 計画の全体像



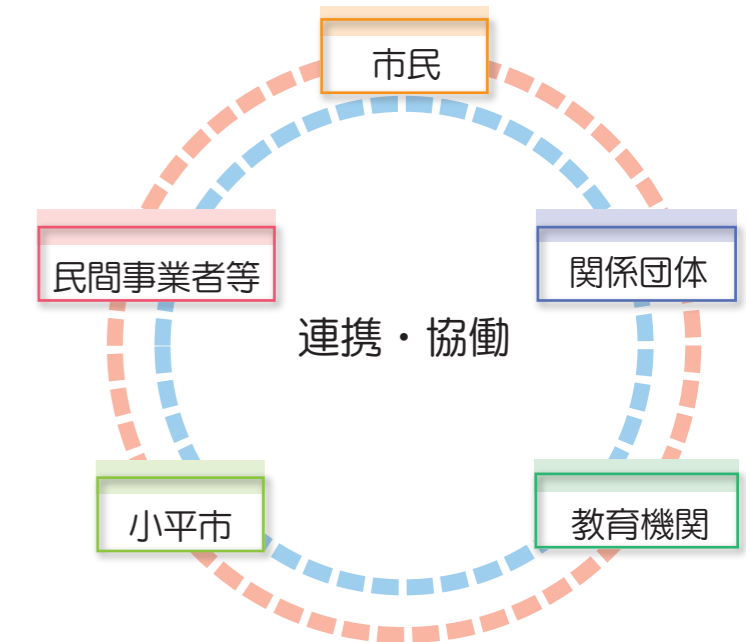
★・・・重点施策

## 計画の推進体制

文化芸術及びスポーツ活動の主役は市民であり、計画の推進にあたっては、市民や関係団体、学校、民間事業者等の各主体が各々の役割を担うとともに、文化芸術やスポーツに関わる全ての人々と市が連携・協働を深め、積極的に取り組んでいく必要があります。

各主体がそれぞれの主体的な活動に取り組むとともに、お互いの立場を尊重しあいながら、求められる役割において、連携・協働による文化芸術及びスポーツの推進に取り組んでいきます。

●推進体制のイメージ



## 計画の進捗管理

本計画を効果的に推進していくためには、施策・事業の内容について、定期的に確認・点検を行い、必要に応じて、改善をしていくことが重要です。

計画の進行管理については、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルにより、毎年度、各施策における事業の実施状況の点検・評価を行い、着実な実行を図っていきます。

また、社会情勢や小平市の状況の変化、文化芸術及びスポーツに関するニーズなどに適切に対応するため、必要に応じて評価指標を含めた計画の見直しを行います。